

～わたしたちのまちの防災ルール～ みんなで「地区防災計画」をつくろう！ モデル地区として「与繩」・「桂町」地区を選定

どうして「地区防災計画」が必要なの？

大規模災害が発生した場合には、市役所の「公助」が早急に届かない場合があります。その場合、地域での助け合い（共助）による救済活動が必要不可欠です。災害時に混乱が生じないよう、日頃からの備えや地域での支援体制などの共助のための共通ルール（地区防災計画）を作成し、地区居住者全員で共有することにより、災害に強い地域をつくることができます。

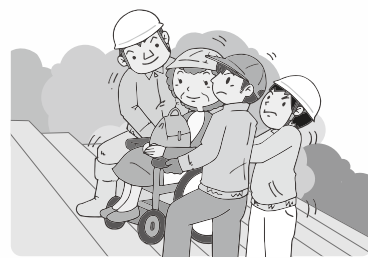
みなさんの地域ではこんなことはありませんか？



自主防災会長が1年で交代。訓練や災害時など、何をしたらいいのかわからない。



みんなが、地域の危険箇所を把握していない。



避難経路や災害弱者の支援体制が決まっていない。

「地区防災計画」をつくれば、どう変わるの？



みんなで、地域の防災対策等を共有できます。（地区防災計画を見ればみんながわかる【防災活動の見える化】）



これまで、地域で決まっていなかった防災対策が構築され、地域の防災力が向上します。
【例：まちの避難ルールの完成】



訓練計画を定めることにより、定期的に訓練が実施され、応急対応が迅速・的確にできるようになります。

どうやって「地区防災計画」をつくるの？

市と地域（自主防災会等）が協力して作成します！（市が作成の支援を行います。）

ステップ①
防災まち歩き・
防災マップの作成



ステップ②
地域の課題・
必要な対策を意見交換



ステップ③
「〇〇地区防災計画」を作成
【例：自主防災会単位での計画】

地域の
【防災組織】、【危険箇所】、
【避難方法・経路】、【避難場所】、
【災害弱者の支援策】、【備蓄】、
【訓練】、【タイムライン】
などを決定

【地区防災計画に関すること（作成を希望する場合）の問合せ先】総務課 危機管理担当